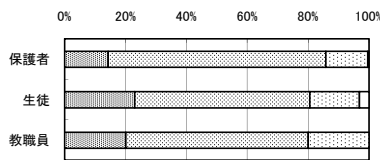


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

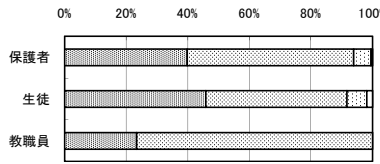
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



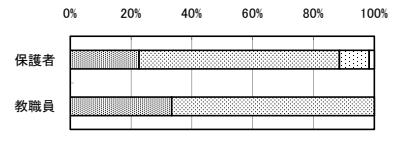
2 意欲的な学校生活

子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

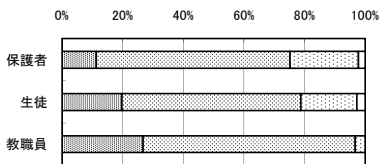


【学校から】学校からの情報発信は、学校、学年、学級と月及び週ごとにしている。保護者に伝わらない原因は、生徒を通した伝達がうまく機能していない状況が考えられ、今後の課題としたい。行事などの連絡を学校のHPや安心メール等を活用し、細やかな情報発信を継続していきたい。連携については、9割以上の肯定的意見がある。しかし、1割程度の保護者への理解を得られるようこれからも努力を重ねたい。生徒が充実した学校生活を送っていることは喜ばしいことである。いろいろな状況の生徒に対しての支援指導を今後も取り組んでいきたい。生徒指導部会・校内支援委員会等の連携協力をもとに、教師間の実践を学年や各分掌の担当者を中心に更に強化していきたい。

教科指導

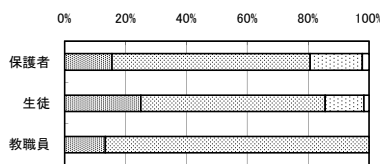
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

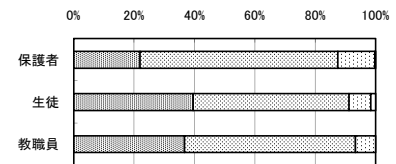


【学校から】昨年度までの研究をもとに、各教科での授業実践を行ってきた。「学び合い、高め合う生徒の育成」をテーマに、言語活動、表現力に視点をあてた実践を行ってきた。学習への取り組みは良く、生徒の「学習内容を分かりたい」という願いを達成するための実践は行われている。やや意欲的な学習が出来ていない生徒への指導課題は残るが、教職員の授業力UPに向けての研修を行い、「分かる授業」を目指した授業づくりに努めていきたい。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

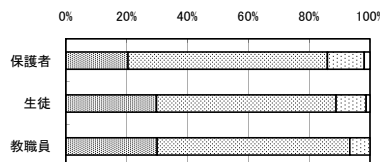


【学校から】新しい教育課程への移行の時期であった。全ての教育活動と連携した取り組みを行っている。3年生での発表を目標に活動している。生徒の意欲的な活動が各場面で観られた。

道徳教育 心の教育

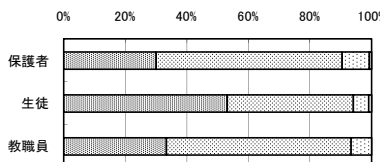
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

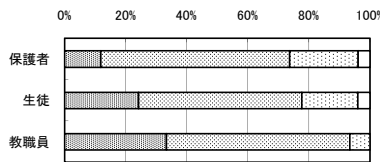


【学校から】「心の教育は挨拶から」と学校生活全般で挨拶運動を展開してきた。特に「立ち止まって」の挨拶が定着しつつある。また、生徒会を中心に各学級単位での挨拶運動や、毎日の教職員の朝の指導も行われた。校内での挨拶の声も良く聞かれるようになってきている。地域での挨拶も良くなっていると聞くがまだ課題である。道徳教育の実践は、道徳の授業時数の確保とともに、学年ごとの担当者を中心とした取り組みが行われた。また、教育活動全体を通して、機会あるごとに全体集会や学年集会、学級指導等も含めて考えさせる場をつくらせている。今後も効果的な指導工夫改善を行ってきたい。

人権教育

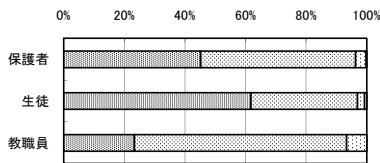
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

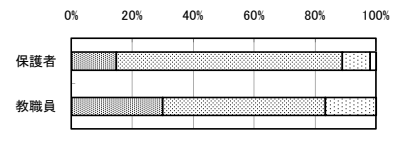
子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



【学校から】教職員の生徒一人一人への関わりは、非常に良い。友好的な関係を持っていると捉えている傾向が見られるのは喜ばしいことである。しかし、指導対応に対して肯定的でないとの意見が2割程度あることを真摯に受け止め、教職員の人権感覚を更に磨き、生徒の何気ない言動への気づき等、一人一人を大切に指導助言活動を継続していきたい。

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

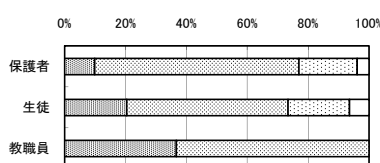


【学校から】毎月行われる校内支援委員会を基に個別の支援に対する協力体制・実践を今後も行っていきたい。また、保護者との密なる連携を取りながら、個に応じた支援・指導を続けていきたい。

生徒指導 教育相談

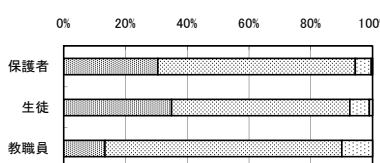
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。



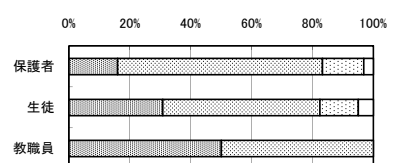
13 規範意識

子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



【学校から】毎週行われている生徒指導部会・生徒指導朝会をもとに、生徒一人一人を肯定的に捉え、学年、担任、教科指導において関わってきている。学校全体では、落ち着いたまた学校生活が営まれており、意欲的に活動している生徒が多い。細やかな指導に関しては、保護者との連携を行い、関係機関との協力や助言ももらいながら改善に向けての取り組みを行っている。特にSSWや学校サポーターの協力は助かっている。月1回「生徒指導アンケート」を実施し、いじめ等の徴候を捉え、指導及びアフターケアに取り組んでいる。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
生徒
教職員

16 体力向上

子どもは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
生徒
教職員

【学校から】 進んで運動をする生徒とそうでない生徒との二極化が見られる。部活動への加入率は80%以上で部活動は盛んである。運動する機会の少ない生徒へは保健体育の授業において運動量の確保を心がけている。昼の休み時間などでは運動場で活動する生徒は多い。安全対策については、月初めの交通指導を全職員で取り組んでいる。また、施設を含め機会あるごとに生徒に知らせ、指導を徹底している。また、事務局や安全担当者を中心に対策をとっている。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、体育大会や文化・学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
生徒
教職員

【学校から】 学校行事への保護者の参加は多い。また、PTAの協力も得られている。本年度は体育大会が天候の関係で平日に内容変更で実施されたのは残念であった。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
生徒
教職員

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
生徒
教職員

【学校から】 校内には、落葉樹が多く、その時期には朝から多くの生徒がボランティアで活動し、集めた葉で堆肥づくりが行われている。緑化担当の指導のもと、生徒会の委員会活動での花壇の整備、世話、掃除が徹底されている。その活動で季節ごとの花が整備された。清掃活動も学校全体で「着替え」での活動が1年を通して行われた。また、無言掃除の取り組みも行われた。さらに、部活動単位のボランティアとしての清掃活動も毎日行われている。安全管理については、定期的な安全点検を行い、安全意識を高めている。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
教職員

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
教職員

【学校から】 各月の行事については、各家庭に配布している。また、毎週発行される学年通信、学級通信などにより丁寧な通知に心がけている。授業参観やその他の講演会などへの参加者は多い。学校からの通知文に関しては生徒を通しての伝達であるため、やや伝わらないという課題は残る。また、学校のHP、PTAのインフォメールの活用も行っている。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

保護者
教職員

【学校から】 保護者と学校との連携、地域との連携は欠かせないものである。今後も家庭や地域との連携、協力体制づくりに努めていきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- ・学力向上と生徒指導は対になっており、学びへの意欲に繋がる素直な心がないと学力向上は期待できない。生徒指導・心の教育を基盤に授業、学校行事で、生徒と関わりながら、一人一人の生徒の意欲を引き出し、活気に満ちた学校・学級づくりを目指す。
- ・新しい教育課程の視点を見据え、校内研修の充実を図り、教師の授業力を高め、言語活動を通して表現力の育成を目指す。また、コミュニケーション能力等の向上を目指す。
- ・特別な支援を必要とする生徒に対しては、今後も校内支援委員会を充実させ、その生徒のニーズにあった対応と関係諸機関との連携強化を図りながら、一人一人の生徒にあった適切な支援活動を行う。
- ・校舎内外の環境整備と施設・設備の安全管理に努める。
- ・今回、アンケートを寄せて頂いた貴重な意見を教職員全体で謙虚に受け止め、今後の教育活動に生かしていく。

学校関係者評価

- ・学校全体が落ち着いており、生徒の学ぶ姿勢ができています。また、全国学力調査や4月の学力テストの分析を踏まえた研究部の取り組みが見られ、校長をはじめ教職員の教育に対する熱意を感じる。
- ・毎月行われる「地域清掃活動」など教職員とPTA、生徒との共同での活動が、真剣に取り組まれている。また、体育大会や合唱コンクール等、学校行事への取り組みが活発で、内容が充実してすばらしい。行事の中で歌われる校歌の歌声もすばらしい。
- ・生徒一人一人に向き合う生徒指導がなされており、複雑な環境で育てている生徒への関わりが少しずつでも効果を上げていることに感謝している。今後も生徒の状況を捉え、関わりを大事にしながら積極的に取り組んでほしい。
- ・学校は地域や保護者との連携を大事にしなければならない。本校では、学校から、学年から、担任からと教育活動の情報発信がなされている。その効果が落ち着いた学校運営に繋がっていると思われる。今後も継続してほしい。
- ・関係機関との協力もされていると聞く。家庭的な、社会的な諸問題が多いと思うが日常的な実践の中で「生きる力」を生徒に身につけてほしい。